

素晴らしい熟年男性を目指す、男の腕まくりOB会

活動地域（大阪府羽曳野市）

男性のプロフィール

氏名：國領 邦雄さん

年齢層：高齢者層（60歳以上）

活動概要：「羽曳野市・男の腕まくりOB会」の発起人の一人で、男性のための料理教室を中心に、パソコン教室、グラウンドゴルフなどを開催している。会員は30名。会長代行を務めている。

活動開始のきっかけ

市主催の料理教室への参加がOB会設立につながる

会社を退職し時間的な余裕ができたとき、実は「家では何もできないこと」に気づきました。妻からは「料理でも習ったらどう。料理ができれば、あなたも私も助かるし」と言われていたところ、ちょうど、市の広報で、男性向けの料理教室が開催されることを知り、「よし！これに参加しよう」と決心したのが始まりでした。この料理教室は、「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な考え方を払拭し、男女共同参画社会の実現を目的に毎年開催されるもので、私は平成19年2～3月にこの教室に参加しました。

この料理教室での経験が楽しく、「これで終わっては、もったいない」との思いから、参加者のうちの5人が発起人となり、同4月、「男の腕まくりOB会」（以下、「OB会」という）を立ち上げました。

OB会の立ち上げに至るまでには、市との折衝で多くの時間を要しました。市とは数十回に及ぶ打合せを行いました。回を重ねるうちに目的が合致してきたので、今思えば、嬉しく、意義のある論争だったと思います。市との調整の結果、活動の場の提供は市に支援いただくこととし、その他の講師選定から会員募集などの一切の運営はOB会が担うことで意見がまとまりました。

活動の内容

毎月1回、プロの味と料理の美しさを追求

市主催の料理教室で基本のワザを学んだ者が集まり、料理を通じて広く交流を深め、これからの暮らしをさらに充実させていくことがOB会の目的です。基本的には定年男性を対象とし、会員は30名です。

市の社会教育施設内の調理実習室を利用し、月1回、料理教室を開催します。講師には本物の料理人を招き、男性講師からは「プロの味」を、女性講師からは「料理の美しさ」を指導いただいています。

また、市の担当者や講師、準会員が参加する年1回の総会と、月1回の役員会を開催しています。役員は会長と会長代行の2名ですが、幹事を15名設けて会計や行事、渉外などの業務を振り分けることで、次期役員を育てるようになっています。こうして、今年で6年目を迎えた料理教室は、延べ31回を数えました。

我々は、「単なる男の料理教室から、素晴らしい熟年男性の集団に成長すること」を目指しているため、料理教室以外に、月1回のパソコン教室、週1回のグラウンドゴルフ、のど自慢大会、納涼会、忘年会、研修旅行など、親睦を図る活動も充実させ、楽しい人生が送れるようになっています。



料理教室



のど自慢大会

同志と今日まで活動を続けてこられたこと

「男の腕まくりOB会」の設立から、今日に至る活動は、一人の力では決して成し遂げることができなかったと思います。発起人5名が誰一人と欠けることなく、同じ想いで活動を続けてこられたことは非常に良かったと思います。メンバーにも恵まれました。職種経験も、性格も異なるもの同士が集まっているのですが、困った時には互いにフォローし合い、どんな困難にも対応してきました。

これからも同志5名、団結して活動を継続していくことが、私のこれからの生きがいでもあります。

周囲との関わり

夫が料理をできれば、妻は喜び、友人と外出できるように

退職後、家にいることが多くなりがちな夫の食事を心配して、友達と外出できないと嘆く妻が多いと聞きます。こうしたなか、料理教室に参加した方のご家族から、夫が料理をするようになったことに対し、お礼の電話をいただくことがあります。妻たちに喜んでもらえることは、最大の収穫でもあります。

OB会に鳥取県出身の方がおり、そのつながりから、年2回、鳥取県産の海の幸、山の幸を提供していただけるようになりました。お返しに、OB会として、毎年、同県の乾燥椎茸や特産米を購入したり、お礼ツアーとして全員でバス旅行に行ったりするなど、広域的な仲間のつながりが生まれています。

直面した課題と解決方法

準会員制度をつくり、退会で数が変動するのを防ぐ

年間8,000円の会費から、料理教室の開催回数分の食材と講師料、活動費を捻出しなければなりません。著名な料理人に講師を依頼したいのですが、謝礼が高額なので実現は困難。とはいえ、会費の値上げは難しい。この板ばさみに悩みましたが、市内在住の料理研究家に依頼したところ、メンバーの中に親しい間柄の人がいることもあって、快くOB会の趣旨に賛同いただき、協力を得ることができました。

また、現会員は中高年で構成しているため、「再雇用で退会」、「腰痛で休会」、「家族の看護で退会」といった理由で、会員が変動します。そのため、常に会員を募集し、定員30名を超えた場合は、「準会員」として待機してもらうシステムを作りました。

定年男性は、現役のころの感覚で物事を考え、一家言を持っている人が多くいます。そういう方々は、ちょっとしたことで論争になることがあります。我々OB会は、楽しい料理教室を目指していますので、幹事が仲裁に入るようにしていますが、論争になった後には会員同士の懇親が欠かせません。納涼会や忘年会のほか、総会後に、「なんでも言い放題」の時間を設けて話し合い、問題の解消を図っています。

これからの展望

活動の楽しさを周囲に広く発信していきたい

OB会を健全に運営していくためには、多くの市民に会の存在を知っていただくことが必要です。そのため、楽しく充実した時間を過ごしている会員たちの姿をホームページで紹介するとともに、テレビや雑誌などのメディアを通じて、これまでも広く全国に発信してきました。市が開催する「男性料理教室」にOB会のメンバーが数名参加し、他の参加者に会の広報や会員募集を行ったりもします。我々の活動の様子は徐々に伝わり、「うちの夫もお願いします」といった嬉しい要望が入ることもあります。

「料理活動を通じて、羽曳野市に貢献できることは何だろうか」と、会員同士でいつも話し合っています。会員がそれぞれにOB会の活動を楽しみ、努力し、活動を充実させていくこと、そして、その楽しさを周りに発信していくこと。この目標に、これからも会員とともに取り組んでいきたいと思っています。